



# 身近な大学講義シリーズ

全6回開催 (6回シリーズですが、各回完結型ですので、興味のある回のみ受講も歓迎します。)

## 第1回 9月7日(土) 身近な食生活学

### 食生活が未来を変える?

— 若年女性の食習慣と妊娠する力 —

今、次世代の命を育む若年女性の不適切な食習慣が将来の妊孕能や QOL に悪影響を及ぼす可能性が問題視され、少子化に悩む日本においては国家レベルの課題になっています。

そこで最新の研究トピックスを紹介しながら、食生活と生殖機能の関係について考えます。

講師 藤原 智子 現代人間学部 生活環境学科 教授

## 第2回 9月21日(土) 身近な医学

### 女性の健康管理について

— 若年期の月経関連症状から更年期障害の知識まで —

女性の体について、基本的な構造と生理的な働きを解説します。その中から、若年期に多い月経痛や月経周期の異常について、原因や治療法および対処の仕方について説明します。また、今一番ホットな話題として、子宮頸がんのお話とワクチンについて概説します。

次に、若い人にも見られる子宮内膜症や子宮筋腫のお話と、更年期障害について、原因と対処法について解説します。

講師 萩原 暢子 現代人間学部 こども教育学科 特任教授

## 第3回 10月5日(土) 身近な科学

### あなたは、どこに家を建てますか?

— 自分の住む土地について、自分で調べられる力をつけよう —

水害となる可能性のある地形や地震や火山噴火の防災に関連した基礎的な知識を基に、自分がこれから住む土地について、自ら調べ、理解し、判断するための方法を学びます。災害に強い自分づくりに取り組みましょう!

講師 佐藤 真太郎 現代人間学部 こども教育学科 講師

## 第4回 11月16日(土) 身近な哲学

### 「哲学する」とはどういうことか?

— 「当たり前」を問いなおす —

哲学というとなんだか難しそうに思われるかもしれませんが、哲学とは、世の中の「当たり前」を問いなおして、その「当たり前」とは別の見方にいたるために深く思考することです。そのおもしろさを感じてもらえたらと思います。

講師 田中 裕喜 現代人間学部 こども教育学科 教授

## 第5回 11月30日(土) 身近な心理学

### 主体的、持続的に学び続けるためのコツとは?

— “学びたい”の背景にある心理学的メカニズムを考えよう —

変動が激しいこの社会で生きていくためには、常に学び続ける意欲と姿勢が重要といえます。主体的に、そして持続的に学びを進めていくにはどうすれば良いのでしょうか。そのヒントを考えていきます。

講師 松島 るみ 現代人間学部 心理学科 教授

## 第6回 12月7日(土) 身近な統計学

### 統計をもっと身近に

— どんな場面で統計が使えるのか —

皆さんは「統計」と聞くとどのような印象を持たれますか? 恐らく多くの方は、「難しそう」という印象をお持ちでしょう。本講座では、実はこんな場面で統計が使える、日常に役立つかもしれない統計等を講義と演習を通して学び、統計と仲良くなっていただきます。

講師 菊野 雄一郎 現代人間学部 心理学科 准教授

時間

各回 14時~16時  
(受付開始 13時半~  
途中休憩あり)

受講料

1回あたり  
500円  
(受講日当日に徴収)

定員

50名  
(1回あたり)

場所

ユーヅニア館 4階・E401 教室

申込受付期間

2024年8月1日~2024年12月6日

※申込受付期間を変更する場合があります



## 申込方法



こちらの URL または QR コードからお申し込みをお願いします。

<https://forms.office.com/r/t3DQLA9yHY>

- ◎ 全6回シリーズですが、各回完結型ですので興味のある回のみ受講も歓迎します。
- ◎ 開催方法：対面実施（京都ノートルダム女子大学 ユージニア館 4階・E401 教室）
- ◎ 受講料：1回あたり500円（受講日当日に現金にて徴収）
- ◎ 定員：50名（1回あたり）

- ・定員いっぱいになり次第、申込を締め切ります。
- ・申込者がいない回は、その回の講座を実施いたしません。
- ・申込フォームによって知り得た個人情報は当該講座実施の目的以外には利用しません。
- ・定員を超過した場合、本学で調整させていただく場合がございます。  
なお、定員を超過しない場合、受講結果についての連絡は行いませんので、当日、本学までお越しく下さい。
- ・講座当日に学内のミニショップ・食堂は営業しておりませんのでご了承ください。
- ・駐車場はございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

## ND アカデミーとは

京都ノートルダム女子大学は「徳と知」を建学の精神・教育の理念とし、リーダーシップをとるに必要な高度な知識と深い倫理観を身につけ、これからの社会をしなやかに生きる女性を育成しています。

本学の第一線で活躍する教員による上質な科目の一部を、広く一般市民向けに生涯学習講座として開講することで、本学が有する知的資源を社会に還元し、社会貢献に資することを目的としています。

各分野の専門家である本学教員の大学講義を、普段の生活で使える知識として、身近に感じていただけるよう改編しました。今後のウェルビーイング向上のために、お役に立てることを願っております。

## 講師のご紹介



ふじわら ともこ  
藤原 智子

奈良女子大学大学院家政学研究科修了。博士(学術)。長年、若年女性の食生活実態調査と動物による検証実験に

取り組み、2020年に新しい疾患概念ADHOGD(思春期食習慣誘導産婦人科疾患)を提唱した(Fujiwara T et al., *Nutrients*, 2020)。2015年より京都ノートルダム女子大学生活環境学科・人間文化研究科教授。食生活学を専門とする。代表的な論文に"Time Restriction of Food Intake During the Circadian Cycle Is a Possible Regulator of Reproductive Function in Postadolescent Female Rats"(*Curr Dev Nutr*, 2019)等がある。



はぎわら のぶこ  
萩原 暢子

大阪医科大学卒業後、産婦人科医となり臨床研修。その後、医学博士取得、カナダトロント大学小児研究

所に留学。帰国後、1997年より京都ノートルダム女子大学助教授、教授を経て、2024年よりこども教育学科特任教授。保育士養成課程設置後は、「こどもの保健」を担当。健康科学と産婦人科学を専門とする。代表的な著書として「若年期における骨量獲得とライフスタイル」(共著・日本学会事務センター)等がある。



さとう しんいちろう  
佐藤 真太郎

北海道教育大学大学院卒業後、埼玉県公立小学校の教員として従事。現職教諭の傍ら、兵庫教育大学大学

院連合学校教育学研究科で博士(学校教育学)を取得。2022年から京都ノートルダム女子大学こども教育学科講師。理科教育における自然災害の取扱いを専門とする。代表的な著書として「新編新しい理科(3年~6年)」(共著・東京書籍)等がある。



たなか ひろき  
田中 裕喜

京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程を単位取得退学後、立命

館大学非常勤講師、大谷大学短期大学部専任講師、滋賀大学教育学部准教授などを経て、2017年より京都ノートルダム女子大学こども教育学科教授。教育哲学を専門とする。代表的な著書として「道徳教育の理論と実践」(共著・大学教育出版)等がある。



まつしま るみ  
松島 るみ

滋賀大学大学院教育学研究科、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科修了(博士(学校教育学))。

2002年より京都ノートルダム女子大学専任講師、准教授を経て、2016年より京都ノートルダム女子大学心理学科・心理学研究科教授。教育心理学を専門とする。代表的な著書として「新・教育心理学」(共著・教育情報出版)等がある。



きのの ゆういちろう  
菊野 雄一郎

ノッティンガム大学(英国)心理学部卒業後、京都大学大学院にて博士号

を取得。長崎大学医学部助教などを経て、2022年より京都ノートルダム女子大学心理学科・心理学研究科准教授。認知心理学を専門とする。著書として「心理学実験のためのMATLAB」(工学社)等がある。



京都ノートルダム女子大学

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地

問い合わせ先

京都ノートルダム女子大学 学事課・連携推進室

☎ 075-706-3661 ✉ [gakuji@ml.notredame.ac.jp](mailto:gakuji@ml.notredame.ac.jp)

駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください

